



999号  
2025年 2月18日

郵政産業労働者ユニオン

←中国地本HPへ  
PC・スマホ等から  
この情報が閲覧可！



メールはこちら→



# 郵便事業は赤字計上

## 決算の概要

2月14日、2025年3月期第3四半期の決算が発表された。

日本郵便は郵便料金値上げの影響が注視された。

日本郵便の通期業績予想では経常利益が△20億円だが、実際は29億円と健闘し、当期純利益も予想△160億円に対し、△25億円であった。会社別で見れば、日本郵便以外は黒字を確保し、利

## 2025年3月期 第3四半期(累計)の経営成績 (億円)

	日本郵政グループ	日本郵便	ゆうちょ銀行	かんぽ生命
経常収益	83,259	25,980	19,102	43,346
前年同期比	△1,066 △1.3%	+992 +4.0%	△239 △1.2%	△2,261 △5.0%
経常利益	7,025	29	4,412	2,227
前年同期比	+1,822 +35.0%	△209 (△87.8%)	+741 +20.2%	+973 +77.6%
四半期純損益	2,649	△25	3,083	844
前年同期比	+430 (+19.4%)	△273 (-)	+450 +17.0%	+192 +29.6%

非支配株主持分を含む四半期純利益は、4,312億円と前年同期比774億円増

## 2025年3月期 通期業績予想 (2024年11月修正後)

経常利益	7,600	△20	5,750	2,200
3Q進捗率	92.4%	(-)	76.7%	101.3%
当期純利益	2,800	△160	4,000	1,200
3Q進捗率	94.6%	(-)	77.0%	70.4%

益を積み上げている。

全国津々浦々の郵便局があるからこそ、ゆうちょ銀行、かんぽ生命の業務は成り立っているが、決算だけで判断すれば、利益に偏りが見られる。

また、郵便法の規定で利益追求が難しい日本郵便に利益追求を求める決算体制には矛盾がある。

## 郵便・物流事業

料金改正で大幅減少が懸念されたが、取扱数量は横ばいとなった。

郵便は4.5%減、ゆうメールが14.2%増。

ゆうパックが1.9%増加し、ゆうパケットは17.7%増加。

営業収益が前年同期比651億円増15,477億円。

営業費用は650億円増の15,856億円。

営業損益は△378億円と赤字を計上(前年同期比1億円)。

## 郵便局窓口事業

保険・銀行手数料等の減少が続く、営業収益は前年同期比11.8億円減の7,660億円。

営業費用は、前年同期比53億円増の7,361億円。

営業利益は前年同期比172億円減の299億

円。

## 国際物流事業

営業損益が前年同期比627億円増の3960億円。

フォワーディング事業の収入増加で営業損益は前年同期比36億円増の91億円。

## 不動産事業

日本郵便や日本郵政不動産などの不動産における営業収益は前年同期比98億円減の634億円。

分譲住宅の収益が減少した。

営業利益は前年同期比38億円減の127億円。

分譲収益は半減したが、賃貸収益が前年同期比99億円増の422億円と堅調さが伺える。

## 日本郵便

営業利益が前年同期比218億円減の69億円。

営業収益が前年同期比981億円増加したが、営業費用も1,200億円増加した。

四半期純損益は△25億円と前年同期比248億円から△274億円悪化した。

10月1日からは郵便料金値上げが実施され、業績予想の通りの赤字であったが、赤字幅は大幅縮小

している。

## ゆうちょ銀行

連結業務純益は、前年同期比2,028円増の633億円。

四半期純利益は前年同期比450億円増の3,083億円。

資金利益が前年同期比1,344億円増の6,762億。

貯金残高はほぼ横ばいの192.1兆円。

## かんぽ生命

基礎利益は前年同期比72億円減の1,625億円。

四半期純利益は844億円と前年同期比192億円増。

保有契約件数は減少しているが、横ばいに近い。

また、新契約年換算保険料は前年同期比で2倍以上と伸びている。

## 今後の予定

● 3月11日(火) 17:00~  
第7回呉支部執行委員会  
支部事務所

次号は 3月 4日 予定